



こんにちわ奥さん

with e フィール便り



大丸エナウエン 株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022
大阪市住之江区緑木1-4-39
TEL.06(6685)5101
FAX.0120-093-025

<http://living-poppo-garden.jp/>
<http://efillwater.jp/>



葉と雨粒

「コロナ禍、地球温暖化対策の脱炭素、ウクライナ問題と、世界は混乱。混乱の原因は、人為的なものと、そうでないものに分けられます。コロナ禍は人為とは無関係。地球温暖化については昨年、国連関係の組織が報告書で、「人為的な温暖化」は紛れもない事実だと断定しました。これを契機に脱炭素が世界的潮流となりました。ただ、この断定に対しては否定的な意見もあり、地球規模の温暖化の原因など、人為では解明できないともいえます。まぎれもなく人為であるのはウクライナ問題です。人間が始めたことですから、悲惨な状況は人間が止められるはずですよ。」

左の写真は、ぼっぼ百科・雨の物語にちなんで、雨と植物。あらゆる問題を雨が流しささってくれますように。



雨の物語④ 雨の匂い

人間の嗅覚に心地よいニオイは「匂い」、悪いのは「臭い」。いずれもニオイと読みますが、「臭い」はクサイとも読みますが、「香り」という言葉が一般的ですが、やや気恥ずかしい感じがします。さて、読者の皆さんは、雨のニオイを感じますか？ あるアンケートによると、97%がニオイを感じ、好きは36%、嫌い17%、どちらでもないが44%。雨そのものは水なのでニオイはないはず。雨のニオイの正体は何でしょう。科学的な説明を紹介しましょう。雨のニオイには大別して2つあるとです。

雨の降り始めの匂いには、ペトリコールというギリシャ語由来で「石のエッセンス」という意味の名称がつけられています。鉱物学者が発表した論文の中で造語です。日照りが続いた後の雨に伴う匂いをペトリコールと定義しています。これは、ある種の植物から発生した油が乾燥した土や石に付着し、その油が雨に当たり微小な粒子を含む気泡（エアロゾル）となって舞

上がることで発生します。エアロゾルも降り始めのニオイに関係します。カビや排ガスなどを含むホコリが雨水と混ざり、エアロゾルの熱で気体となったもので、これは「臭い」でしょう。

まだ雨が降っていない場所でニオイがすることがありますが、雨が降っているとエアロゾルが風で運ばれてくるためと考えられます。雨上がりに強まるのは、ゲオスミンが原因です。こちらは土中のバクテリアなどによってつくり出される有機化合物のカビ臭いようなニオイで、雨水によって拡散します。雨水が蒸発し始める際に強まる、雨上がりに特徴的なニオイとして感じられます。ゲオスミンはギリシャ語で「大地の匂い」を意味します。

入浴と健康⑬ 冬だけではない ヒートショック

急激な温度変化で血圧や脈拍の変動が起こり、脳出血、脳梗塞、心筋梗塞などにつながる危険があるヒートショック。冬場の入浴時などに起こりやすく、屋内での高齢者の死因の4分の1を占めます。効果的な予防法は、浴室や脱衣所の暖房で温度差をなくすことです。脱衣所が寒いと、浴室から出たとたんに関係が負担がかかります。また、ヒートショックというと、急激に温度が下がることが原因だと考えますが、熱さ、熱も問題です。高齢者は熱さを感じにくく長湯をしがちです。浴槽につかっまま寝てしまうと、たいへん危険です。体温が上昇し、夏場の屋外での熱中症と同じこととなります。これもヒートショックなのです。入浴中にヒートショックが起きても、すぐ発見して処置をすれば、溺死にまで至る危険は少なくなります。公衆浴場で死亡事例が少ないのは、まわりに人がいるからです。高齢者が入浴中は、ときどき家族が声をかけることが大事です。浴室に手すりがあれば、めまいが起きても転倒を防げます。